

2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月12日

上場会社名 株式会社ネットマーケティング 上場取引所 東
 コード番号 6175 URL <https://www.net-marketing.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 宮本 邦久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 三村 紘司 (TEL) 03-6894-0139
 四半期報告書提出予定日 2020年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の業績 (2019年7月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	11,313	15.3	602	318.9	613	338.9	419	359.4
2019年6月期第3四半期	9,812	27.2	143	△69.8	139	△71.4	91	△72.8
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2020年6月期第3四半期	28	43	27	91				
2019年6月期第3四半期	6	27	6	10				

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	5,093	2,661	52.3
2019年6月期	5,281	2,290	43.4

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 2,661百万円 2019年6月期 2,290百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2019年6月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2020年6月期	—	0.00	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の業績予想 (2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 新型コロナウイルス感染症の拡大が依然として続いており、いまだ先行き不透明な状況が続いております。そのような状況の中、当社業績に対しても影響が開始しておりますが、現時点においては具体的な業績予想の算出が困難であると判断しております。従いまして、2020年6月期の業績予想については一旦未定とし、適正な算出が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年6月期3Q	14,793,600株	2019年6月期	14,579,400株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年6月期3Q	188株	2019年6月期	146株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年6月期3Q	14,756,089株	2019年6月期3Q	14,569,787株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、2020年5月12日（火）に東京証券取引所「適時開示情報閲覧サービス」及び当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

当第3四半期累計期間（2019年7月1日から2020年3月31日まで）におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善に伴い緩やかな回復基調にありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による経済への影響や社会不安が重なり、先行きに対する不透明感が増しております。

当社が事業展開を行う国内インターネット関連市場におきましては、スマートフォンやタブレット端末をはじめとするインターネット利用端末の多様化等により、インターネット利用人口は2018年の1年間で13歳～59歳の各年齢階層において9割を超えて利用され、人口普及率は79.8%（前年比1.1%減）と高い水準を維持しております（注）。また、FacebookやTwitter、LINEに代表されるソーシャルメディアの普及率は60.0%（前年比5.3%増）と上昇を続けております（注）。消費者がインターネット及びスマートフォンを利用する時間の拡大とともに、インターネットやスマートフォンに関連したサービスは更なる市場拡大が期待されております。

こうした環境のもと、当社は、中期経営計画の2期目を迎え、中核事業であるアフィリエイト広告事業の拡販を進めるとともに、SNS広告事業のさらなる規模拡大に努めてまいります。また、メディア事業においては、2月にOmiaiのブランドロゴを一新するとともに、女優兼創作あーちすと。である「のん」さんをブランドアンバサダーに起用し、さらなる認知拡大を目指してまいります。加えて、持続的な収益の拡大を実現するため、効率的な会員獲得手法の確立に取り組むとともに、さらなるサービスの拡充に努めてまいります。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は113億13百万円（前年同期比15.3%増加）、営業利益は6億2百万円（前年同期比318.9%増加）、経常利益は6億13百万円（前年同期比338.9%増加）、四半期純利益は4億19百万円（前年同期比359.4%増加）となりました。

（注）出所：総務省「平成30年通信利用動向調査の結果」

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

なお、売上高については、セグメント間取引の調整後の数値であり、セグメント利益については、セグメント間取引の調整前の数値であります。

①広告事業

広告事業は、主にアフィリエイト広告に特化したエージェントとして、広告プロモーションの戦略立案から運用支援までを一貫して提供するアフィリエイトエージェント事業を主力のサービスとして提供しております。また、SNS広告に関しましては、徐々にではありますが着実に顧客を増やし、今後本格的な事業展開を進めるための礎を築いております。

当事業においては、アフィリエイト広告におけるエステや人材関連等を扱う「サービス」カテゴリーが好調に推移した結果、当事業の売上高は78億31百万円（前年同期比16.8%増加）、セグメント利益は7億78百万円（前年同期比57.3%増加）となりました。

②メディア事業

メディア事業は、マッチングサービスとして恋活・婚活サービス「Omiai」を提供しております。

当サービスにつきましては、2月にブランドロゴを一新するとともに、女優兼創作あーちすと。である「のん」さんをブランドアンバサダーに起用し、さらなる認知拡大を目指すため各種取り組みを行っております。取り組みの一例としては、WEB-CMの公開や関東・関西エリアでのOOH広告の展開などを実施し、認知度向上に努めております。加えて、持続的な収益の拡大を実現するため、効率的な会員獲得手法の確立に取り組むつつ、会員登録導線の最適化を図るなど、さらなるサービスの拡充を進めて参りました結果、2020年3月にはサービス開始以降の累計会員数が532万人を突破いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は34億82百万円（前年同期比12.0%増加）、セグメント利益は2億73百万円（前年同期比413.0%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べ1億87百万円減少し、50億93百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2億82百万円増加したものの、売掛金が4億99百万円減少したこと等によるものであります。

一方、負債合計は、前事業年度末と比べ5億59百万円減少し、24億31百万円となりました。これは主に、買掛金が5億85百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前事業年度末と比べ3億71百万円増加し、26億61百万円となりました。これは主に、利益剰余金が剰余金の配当により72百万円減少したものの、四半期純利益の計上により4億19百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末の43.4%から52.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の拡大が依然として続いており、いまだ先行き不透明な状況が続いております。

そのような状況の中、当社業績に対しても影響が出始めておりますが、現時点においては具体的な業績予想の算出が困難であると判断しております。

従いまして、2020年6月期の業績予想については一旦未定とし、適正な算出が可能となった時点で速やかに公表いたします。

なお、各事業において想定される影響は下記の通りでございます。

①広告事業

政府及び各自治体の要請により各事業者の休業や営業時間短縮が続いた場合、特に店舗型ビジネスのカテゴリーに属する広告主からの売上高が減少する可能性があります。

②メディア事業

外出自粛による消費マインドの低下が続いた場合、事業KPIへの影響が大きくなる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,043,817	3,325,824
売掛金	1,759,412	1,259,946
その他	79,758	113,610
貸倒引当金	△14	△10
流動資産合計	4,882,974	4,699,370
固定資産		
有形固定資産	120,857	110,149
無形固定資産	14,961	3,050
投資その他の資産	262,688	280,948
固定資産合計	398,507	394,149
資産合計	5,281,482	5,093,520
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,033,006	1,447,751
1年内返済予定の長期借入金	79,992	79,992
未払法人税等	16,767	152,116
その他	781,332	732,066
流動負債合計	2,911,098	2,411,925
固定負債		
長期借入金	80,032	20,038
固定負債合計	80,032	20,038
負債合計	2,991,130	2,431,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	395,442	407,753
資本剰余金	385,442	397,753
利益剰余金	1,509,268	1,855,884
自己株式	△101	△135
株主資本合計	2,290,051	2,661,256
新株予約権	300	300
純資産合計	2,290,351	2,661,556
負債純資産合計	5,281,482	5,093,520

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)
売上高	9,812,953	11,313,724
売上原価	6,823,424	7,723,731
売上総利益	2,989,529	3,589,992
販売費及び一般管理費	2,845,679	2,987,342
営業利益	143,849	602,650
営業外収益		
受取利息	39	29
受取手数料	6,677	8,407
受取報奨金	189	1,862
その他	421	572
営業外収益合計	7,327	10,872
営業外費用		
支払利息	753	483
新株予約権発行費	10,558	—
その他	210	30
営業外費用合計	11,522	513
経常利益	139,654	613,009
特別損失		
関係会社清算損	329	—
特別損失合計	329	—
税引前四半期純利益	139,325	613,009
法人税、住民税及び事業税	8,921	195,424
法人税等調整額	39,084	△1,927
法人税等合計	48,005	193,496
四半期純利益	91,319	419,512

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	広告事業	メディア事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	6,704,396	3,108,557	9,812,953	—	9,812,953
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,704,396	3,108,557	9,812,953	—	9,812,953
セグメント利益	494,890	53,313	548,203	△404,353	143,849

(注) 1. セグメント利益の調整額△404,353千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	広告事業	メディア事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	7,831,175	3,482,549	11,313,724	—	11,313,724
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	197,080	—	197,080	△197,080	—
計	8,028,256	3,482,549	11,510,805	△197,080	11,313,724
セグメント利益	778,241	273,518	1,051,759	△449,109	602,650

(注) 1. セグメント利益の調整額△449,109千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。